

みなみっ子だより

みんなちがって みんないい

12月4日から12月10日は人権週間でした。人権週間に合わせて、今年度から12月の参観授業や懇談会で、人権について扱うことにしました。12月3日（金）の参観授業では、2時間公開のうち、1時間は人権についての授業を行いました。また、12月6日の全校朝会では、「さっちゃんのまほうの手」という絵本を紹介しながら、人権についてお話をしました。

私が担任をしていた時は、よくこの絵本を読み聞かせしていました。先天性四肢欠損という障がいをもって生まれたさっちゃん。傷つきながらも右手の指がないという障がいを受け、力強く歩き始めるというお話です。実は私の友達にも、先天性四肢欠損という障がいをもって生まれた人がいました。この絵本を読むと、いつもそのお友達のことを思い出します。途中から転校してきたその子は、勉強もよくできて、誰とでもすぐにお友達になってしまふ、明るい女の子でした。その子に初めて会った時、手のない姿を見て驚き、どう声をかけていいか戸惑ったのを覚えています。でも、その子から自然に声をかけてきてくれた時、どう声をかけたらいいか戸惑っていた自分がとつても恥ずかしくなりました。四肢があるのが当たり前の世界で生きてきて、それが当たり前と思っていたけれど、「当たり前と思っていたことは当たり前じゃない」ということに、気づかせてもらったように思います。

身体の特徴や行動特性について、外国人、障がいのある人、病気の人、お年寄りに対する差別の言葉は、言われた本人が直そうとしても直すことができないことであり、言うてはいけない言葉です。お互いに相手の立場を考え、思いやりの気持ちをもって相手に接する心が大切です。そういった心をもつことが人権を尊重することになります。「みんなちがって、みんないい」これは詩人の金子みすずさんのことばです。みんなそれぞれ違いがあります。一人として同じ人はいません。その違いを悪口の材料にするのではなく、個性として認めることが大切です。みんな違って、みんないいんです。子どもたちには、その違いがもし病気や障がいであったとしたら、それを支援する人になってほしいなと思います。



外部講師の方に来ていただきました！（3年生）



3年生の社会科の学習で、消防士の方や警察官の方に来ていただいて、消防や警察の仕事について学習しました。現場で働かれている方から直接お話が伺えるということで、子どもたちは朝からワクワクドキドキ。教科書には載っていない内容も知ることができて、目を輝かせて聞いていました。「大きくなったら、消防士になりたい人～」「警察官になりたい人～」と尋ねられると、一斉に手が挙がりました！将来、消防士や警察官になる子がたくさんいるかもしれませんね！

地域の皆さん、いつも登下校の見守りをしてくださってありがとうございます。



「海の学校」 出前講座（5年生）12月9日

5年生は、今年度「海の学校」が中止になったので、出前講座を依頼しました。カッターの漕ぎ方や、地引網の仕方、ひも結びのやり方など、とても分かりやすく丁寧に教えてくださいました。来年度、新5年生と一緒に行く予定にしています。来年度は、コロナも終息して行けることを願っています！



「人権スポーツふれあい教室（5・6年生）12月15日



人権スポーツふれあい教室で、岡山シーガルズの選手の皆さんと地元の人権擁護委員の方々、岡山市人権推進室の方においでいただき、「人権」について学習しました。最初に岡山シーガルズの皆さんとバレーボールを通して交流しました。「ボールを次の人につなげていく」という活動では、相手の取りやすいパスを送りながら、「いいよ」「大丈夫」「ドンマイ」という声は自然と出てきて、最初は硬かった表情もどんどん笑顔が溢れてきました。最後は、選手の皆さんからのメッセージを伺いました。実体験を通して得た気持ちやメッセージは、子どもたちの心にしっかり届いていたようです。

交流後、子どもたちの感想には「人が何を考えているのかや、自分だけがよければそれでいいではなく、周りの事を考えて行動することや、偏見や見た目の人を決めつけてはいけないことが分かりました」「何か困っていることはないかなと相手の立場に立って考え、心配り、気配りができる人になりたいです」「人に気を配って、協力したり、感謝の心を忘れないようにしたいです」などが書かれていました。今回の交流が、自分の行動や考え方を振り返るよい機会になったと思います。

社会科見学に行ってきました！



<5年生>

11月29日に、JFEと三菱自動車工場へ行ってきました。JFEでは、東京ドーム240個分の広大な敷地の中に、信号機やコンビニ、消防署や警察署もあり驚きました。鉄鉱石から1枚の鋼板ができるまでのビデオを見せていただき、その後、船腹等に使用する鋼板をつくる場所では、真っ赤に加熱された鋼板が、光と音を放ちながら圧延されていく光景は圧巻でした！三菱自動車工場では、車を製造している生産ラインの側を歩いて見学させていただきました。ロボットが担当する工程と、人が担当する工程に分かれていました。また、材料や部品を載せた無人の荷車が、ちゃんと目的地まで運んでいる様を見てびっくり！床に磁石を埋め込んで、磁場の力で進んでいるのだそうです。最後のチェックはやっぱり人の目で！安心して安全な車を届けたいという働く人の気持ちが、子どもたちにもしっかり届いたようです。



<3年生>

12月10日に、表町商店街とサイピアへ行ってきました。表町商店街では、西大寺町入り口で下車し、南北にウォークラリーをしながら探検しました。商店街はツリーが飾られていてクリスマスモード満載でした。サイピアでは、プラネタリウムでの冬の天体を見せてもらいました。その後、お弁当を食べて、太陽の丘公園で思いっきり遊びました。私も子どもたちに誘われて、長い長いローラー滑り台を滑りました！ちょっとお尻が痛かったですが面白かったです。科学ショーでは、子どもたちが興味をもてるように様々な実験を楽しく紹介してくれました。



ひまわりの種の譲渡式（12月8日）



NPO法人かなぎさんから、福島県のNPO法人シャロームさんが始められた、原発事故により土壌汚染で作れなくなったひまわりの種をいただき、運営委員会の子どもたちが校庭に植えてくれました。とても黄色が美しい目の覚めるような見事なひまわりが咲きました。その後、運営委員会で種を採り、その種を、12月8日にNPO法人かなぎ代表の片山さんにお渡ししました。この種はひまわり油に加工され、「みんなの手」という名前で商品化されるそうです。

居住地交流（12月9日）



12月9日に、誕生寺支援学校のAさんとの居住地交流が行われました。毎年、この時期に交流を行います。小学校での交流は今回が最後になります。みんなで一緒に和太鼓をたたいたり、フルーツバスケットや大玉転がし等をして親交を深めました。中学校へ進学しても、交流が続くといいですね。

歯の健康集会（12月13日）



12月13日に、保健委員会の子どもたち主催の歯の健康集会がありました。歯磨きの大切さを劇を通して分かりやすく伝えてくれました。その後、校医の北山先生から「かむことの8大効果」についてお話をいただきました。

図書委員会によるパネルシアター（12月20日）



12月20日に、図書委員会によるパネルシアターがありました。紹介してくれた本は「まよなかのもりで」という絵本です。まよなかの暗さを表現したいということで、体育館を暗くし、蛍光色を使ったパネル人形が暗闇に浮かんで、とてもきれいでした。